

ふるさと美浜元気プロジェクトで広がる教育の可能

美浜町立美浜西小学校 教諭 大野 靖幸

美浜町では、平成30年より「みはま元気プロジェクト」と称し、町内3小学校が合同で探究活動を進めています。学年ごとに「美浜の自然環境（3年生）」「美浜の福祉（4年生）」「美浜のよさ（5年生）」「美浜の課題解決（6年生）」といったように、テーマを設定しています。そして、小学校卒業までに美浜のよさを学ぶだけでなく愛郷心や社会参画の意識を育む取組みになっています。また、学校外でのフィールドワークも行っています。他校の友達や地域の大人と積極的に関わりをもつことは、これからの社会で必要とされる子どもたち自身が課題を見つけ、主体的にそれを解決していこうとする態度の育成につながっています。さらに、他校同学年との横のつながりや3年生から6年生、そして生徒主体のPBL※を進めようとしている美浜中学校、美方高校の先輩とのつながりを強めることで、一人ひとりの探究力がレベルアップしています。この取組みは、今後の美浜町で活躍する人たちの育成に大きな成果を上げ、美浜町の将来を変えるものになると思います。

私たち美浜町の教師は、「みはま元気プロジェクト」をベースとして、これまでの教師主導型の知識偏重教育から、子どもたちが学びを決め、あらゆる人と協働しながら学習を進めていこうとする学びへの転換を図ろうとしています。これからの教員としてのやりがいの一つは、「総合的な学習の時間」で、子どもの学ぼうとする気持ちに寄り添い、子どもたちの「できそう」、「できた」、「伝えられた」という感動場面を子どもたちと共有していけることだと考えています。

※PBL（Project Based Learning）は、日本語では「問題解決型学習」「課題解決型学習」などと訳される勉強法です。生徒が自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習方法のことを指します。